

嶺北地域アクションプランの進捗状況等について（第 3 四半期）

H 2 5 . 2 . 7

嶺北地域本部

1 地域アクションプランの実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域の 28 項目の全てのアクションプランについて、事業主体や関係町村が取り組んできた中で、概ね計画に沿って事業が順調に進捗しつつある。

こうした中、嶺北地域では、事業の中核となるプレイヤーが複数の取組を行っている現状があり、今後の発展のためには、農業・畜産・林業などの各分野で新しい担い手やリーダーの人材育成が急務となっている。

そのため、各分野ごとの担い手育成の取組に加えて、4 町村が連携した観光・交流人口の拡大や移住促進の取組の中で、U・I ターンによる地域外からの担い手確保の取り組みにも力を入れている。一方で、地域内の人材育成として、嶺北高校と連携して将来の担い手育成にも取り組んでいる。

また、嶺北地域アクションプランの取組事業者の中には、事業が開始して間もないことなどから経営基盤が脆弱な事業者もあり、経営計画や経営改善計画の樹立支援と計画の実行支援を行っている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>“れいほく” ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工品の販売促進</p> <p>■No. 1 れいほくブランドの園芸産地の維持（嶺北地域全域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐れいほく（園芸部会、花き部会） ・ 直販生産部会土佐町支部 	<p>[取組状況]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関への協力要請（5 回） ・ 生産者への遊休農地・空き家アンケート（1 回） ・ 嶺北地域移住促進連絡会との情報共有（5 回） ・ 農業研修開始：2 名 ・ 新規就農者：1 名 <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 各生産部会の現地検討会（21 回） ・ 天敵の推進講習会（2 回）、天敵リレー（3 回） ・ 栽培管理指導（土壌溶液分析）（14 回） ・ れいほく八菜販売額：1.6 億円（10 月末現在） ・ れいほく八菜生産者数：5 名増（計 186 名） ・ 販売促進企画会議（12 回） ・ れいほくコーナー設置：1 か所（県内仲卸店） <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培管理巡回指導（10 回） ・ 研修会（2 回） ・ ノーブル由来の新系統の特性調査（1 回） ・ れいほく八花販売額：0.8 億円（10 月末現在）

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進 (本山町、大豊町、土佐町)</p> <p>・嶺北地域果樹(ゆず)産地協議会</p> <p>・JA土佐れいほく</p>	<p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地巡回指導(4回) ・栽培指導講習会(4回) ・とさ千里での販売促進(8回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な担い手確保 ⇒嶺北地域移住促進連絡会と連携した取組 (農地・空き家情報の収集等) 農業法人・集落営農組織・町村等が一体となった取組の推進 <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹品目(米ナス、シシトウ、三色ピーマン)の栽培確立 ⇒基幹品目への集約と生産技術の向上 病虫害対策の向上 ・販売促進活動などによる販売拡充 ⇒販売拠点(コープかがわ)の充実と消費宣伝 県内市場及び大阪市場の販売強化 <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害の早期発見 ・ノーブルの高品質・安定生産技術の確立 ⇒ノーブルの球根供給システムの確立と生産技術向上の体制づくり <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販生産者の生産量の増 ⇒栽培品目の提案及び栽培管理指導による出荷量の増及び品質向上 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外での販促活動(3回) ・生態(着花状況等)調査(11回) ・個別巡回指導(7回) ・生産量:605ト(12月現在) ・加工品販売額:2.1億円(12月現在) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果用及び、果皮利用可能な果実の生産量向上 ・ユズ加工品の販売力強化 ⇒国内外への販促活動の強化 競争力を付けるための酵素失活・無菌充填施設の整備の検討

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組</p> <p>■No.6 J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組(嶺北地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐れいほく ・ (株)れいほく未来 ・ 米米ハート 	<p>[取組状況]</p> <p>(農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作付：園芸作物 41a、新規需要米 200a ・ 農作業受託：水稲 1,260a、ハウス 20a ・ 農業経営事業販売額：5,900 千円 ・ 農作業受託事業：1,722 千円 ・ 育苗事業販売額：42,870 千円 ・ 新規雇用：1 名 <p>(米粉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農商工連携基金事業の採択(事業費：4,967 千円) 嶺北高校、とさ千里と連携した新商品の開発の取組 ・ 商談会への参加(2 回) ・ 米粉・米粉加工品販売額：14,770 千円 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業体(JA 出資型法人)の経営の安定化 ⇒中期経営事業計画(5 ヶ年)の実践支援 ・ 農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業を展開するための機器整備 ⇒こうち農業確立総合支援事業を活用予定 (平成 25 年度) ・ 米粉・米粉加工品の販売拡大 ⇒農商工連携基金事業の効果的な活用 (新商品開発、販売促進活動への実践支援)
<p>肉用牛産業の再興及び土佐はちきん地鶏の振興による畜産業の展開</p> <p>■No.8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(本山町、土佐町、大豊町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 土佐れいほく ・ (株)れいほく未来 ・ 飼養者 ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国庫事業(強い農業づくり交付金)の交付決定(計画事業費：7.5 千万円×3 ヶ年)、産業振興総合補助金の特別承認事業の交付決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な施設整備 ・ 運営体制(飼育体制等)、資金計画の検討 ⇒事業執行体制(人員)の充実(緊急雇用を活用) 必要に応じた産業振興アドバイザーの導入 関係者((株)れいほく未来、J A 土佐れいほく、土佐町、県)による事業内容の協議

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化(大川村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)むらびと本舗 ・大川村 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者協議の実施(大川村、(株)むらびと本舗、県) ・飼養技術向上の取り組み ・出荷羽数(大川村分):3.7万羽(12月末現在) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営・財務基盤の脆弱性 ⇒中期経営改善計画の樹立支援 関係機関による経営改善策等の継続協議 ・職員の飼養技術の向上 ⇒職員の飼養技術の向上支援(現場研修等)
<p>嶺北材の増産及び販路拡大</p> <p>■No.10 間伐の推進と素材生産の拡大(嶺北地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者 ・森林組合 ・素材生産事業体 ・自伐林家 <p>■No.11 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進(嶺北地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐産商(株) ・吉野川リビング(協) ・土佐町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業体と個別勉強会の実施(9事業体) ・原木市場(とさ本山共販所)の再開(4月23日)及び施設整備(高知県木材加工流通施設整備事業) ・架線集材支援システム支援事業による支援(4事業体7か所) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木増産体制の整備 ⇒搬出間伐の補助を受けるための計画作成支援 再造林補助金の充実による皆伐の推進 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「れいほくスケルトン」の基準作りに向けた工務店・製材所等の協議(2回) ・パートナー工務店との意見交換会(1回) ・納材実績:18棟・201.9m³(12月現在) ・事業主体のうちの1社が解散し、新会社が事業継続 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期の「れいほくスケルトン」の基準作り ⇒関係者と次期展開に関する検討・協議の実施

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>大型製材工場の設置</p> <p>■No. 15 大型製材工場の設置による地域材の利用の促進(嶺北地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知おおとよ製材(株) ・大豊町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型製材工場の施設整備の着手(起工式:7月30日) ・原木生産増大に向けた森林施業協議(大豊町、森林組合) ・再造林に対する大豊町の補助金交付要綱制定(6月1日) ・大型製材工場の採用内定:26名 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木供給体制の整備 ⇒関係機関と連携し、原木市場を中心とした供給体制の整備検討
<p>地産外商の促進</p> <p>■No. 18 土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進(嶺北地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)とさ千里 ・JA土佐れいほく ・土佐町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事・販促イベント(8回) ・てんこす、まるごと高知からの情報提供(毎月実施) ・大阪事務所での木曜日(毎週実施) ・産業振興アドバイザーの導入(米粉パン製造) ・経営改善検証会議(6回) ・米粉パン事業は県内パン製造事業者が引き継いで実施(24.10～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営・財務基盤の脆弱性 ⇒経営改善計画の実行支援 (経営改善検証会議で事業等の分析・検証) ・野菜供給体制の構築 ⇒嶺北地域の野菜の出荷体制の整備(土佐町が支援制度を創設済み)及び実行支援 ・顧客の回復及び新規顧客の開拓 ⇒催事の開催によるPR (JA土佐れいほく、土佐町が月1~2回程度実施支援 大阪事務所による支援 (木曜日開催、在阪の県人会など各種団体へのPR) まるごと高知、てんこすの売れ筋商品情報などの提供

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>嶺北地域の連携による交流人口の拡大</p> <p>■No. 19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大(嶺北地域全域)</p> <p>・嶺北地域観光・交流推進協議会</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北地域観光・交流推進協議会に事務職員を雇用(緊急雇用の活用:1名)し、活動を強化 ・嶺北地域の旅行商品化の動き 商品化:4社・17ツアー(12月末現在) 催行:3社・9ツアー・218人(12月末現在) ・大学と連携した旅行商品の磨き上げ 大学:4校(県内1校、県外3校) 催行:3校・42人(12月末現在) ・観光人材育成塾「とさ旅セミナー」の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光のコーディネート組織の早期の見出し ・次年度以降の協議会の事務局体制の協議・検討 ⇒嶺北地域観光・交流推進協議会で地域内の参画事業者や制度活用等について協議・検討

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 米のブランド化による稲作農業の展開(本山町)</p> <p>・本山町ブランド化推進協議会</p> <p>・(財)本山町農業公社</p> <p>・本山町酒づくり協議会</p> <p>・本山町</p>	<p>[取組状況]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理指導(10回) ・写真コンテスト、田んぼアート、棚田アート、棚田コンサートの実施 ・生産実績 生産農家37戸、栽培面積30.81ha、生産量105トン 生産者価格10,000円/30Kg ・米食味分析鑑定コンクールで4年連続受賞 24年度:栽培特別部門水田環境特Aで金賞を受賞 <p>(加工品(米焼酎))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興総合補助金の交付決定 醸造所・醸造設備の整備(25年2月完了予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者価格の向上 ⇒直接販売増の取組の実施

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 (株) 大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組 (大豊町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) 大豊ゆとりファーム ・大豊町基石茶協同組合 ・大豊町 	<p>(加工品 (米焼酎))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な生産体制の確立 ⇒実績のある杜氏や工業技術センター等からの生産指導による醸造技術の確立 ・販路の確保 ⇒町内販売及び事業者等の人的ネットワークを活用した町外・県外への販促活動 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基石茶の販促活動 新規取引先：10社 ・中期経営改善計画に基づく取り組み ・クールベジタブルの販促活動 協賛企業：2社 販売額：3,100千円 ・過年度産在庫により生産調整の実施 24年度：100kg (2生産者) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度産の基石茶が在庫の状況 ⇒中期経営改善計画の実行支援 関係者と基石茶戦略の検討
<p>■No.7 直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組 (本山町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山さくら市運営委員会 ・(財)本山町農業公社 ・本山町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜栽培講習会 (2回) ・先進地視察研修 (1回) ・産業振興総合補助金 (ステップアップ事業) の活用 講演会、POP作成講習会、PR活動等 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷者・出荷量の増、地域外からの誘客 ⇒栽培講習会、PR活動等の継続実施
<p>■No.24 滞在型市民農園の推進による地域の活性化 (本山町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道の整備 (町単) ・施設整備に国事業 (社会資本整備総合交付金) 及び県事業 (移住促進事業) の活用 整備完了：25年3月 (予定) ・情報発信・PR活動 移住相談会、インターネット、雑誌掲載等 ・入居申し込み：5組 (12月末現在)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ れいほく田舎暮らしネットワーク ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設に向けた情報発信・PR活動(ソフト対策) ⇒ 本山町市民農園整備促進協議会による取組 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ れいほく田舎暮らしネットワーク(1名)、4町村(各1名)に臨時職員を雇用(緊急雇用の活用)し、連携した取組を実施(空き家調査、仕事調査、情報発信) ・ 移住促進連絡会議の開催(9回) ・ 県外での移住相談会への参加(14回) ・ 地域内企業等への移住に関する求人枠の協力要請 ・ 移住相談受付件数: 178件(12月末現在) ・ 移住実績: 40名(12月末現在) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度以降の取組体制 ⇒ 町村、れいほく田舎暮らしネットワーク、県により協議
<p>■No. 27 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組(嶺北地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) れいほく未来 ・ 嶺北高校 ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米粉等を利用した新商品の開発及び販路開拓 こうち農商工連携基金事業を活用し、(株) れいほく未来・(株) とさ千里・嶺北高校による6次産業化の取組を展開中 (れいほく未来と嶺北高校の新商品開発委託契約の締結(8月15日)) ＜嶺北高校の取組＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・調理師学校による助言・指導 ・ 試食アンケート(県内2回、県外1回) ・ まず、1品について(株) れいほく未来に提案し商品化の取り組みが開始 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>平成24年度 高知県地場産業大賞 次世代賞 受賞 ・ 観光・交流の取組を行っている嶺北地域観光・交流推進協議会の構成員に嶺北高校が参加</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生が主体的に動き出すキッカケづくり ⇒ アドバイザーの活用、県内大学との連携 高校生を主体とした模擬会社化の体制づくり(銀行、商工会の協力を予定)

2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.7 直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組（本山町） ※ステップアップ事業 （H24.7.11 交付決定）</p>	<p>本山さくら市の活性化に向けた集客増等の取組 （講演会・研修会、チラシ配布、パンフレット作成等）</p>	<p>776 (387)</p>
<p>■No.4 米のブランド化による稲作農業の展開（本山町） （H24.10.11 交付決定）</p>	<p>‘土佐天空の郷’を選別する過程で生じた中米を原料とした米焼酎の醸造・販売の取組 （醸造所、醸造設備の整備）</p>	<p>12,589 (5,994)</p>
<p>■No.8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興（土佐町） （H25.1.15 交付決定（特別承認事業） なお、施設の造成地について、開発に関する許認可を手続き中）</p>	<p>土佐あかうしの生産基地整備による生産体制の強化に向けた取組 （繁殖畜舎、肥育畜舎、管理棟等の整備）</p>	<p>176,250 (12,500)</p>
<p>■No.20 濁酒等を活用した地域資源との連携による地域の活性化（本山町） ※ステップアップ事業 （H25.1.15 交付決定）</p>	<p>濁酒の販路拡大・PR活動による交流人口の拡大や地域活性化に向けた取組 （販促グッズの整備、PR活動）</p>	<p>300 (150)</p>

3 県民参画に向けた取組

(1) 各種会議での説明・PR

実施日	会議等の名称	説明・PR等の内容
2月14日	本山政経懇話会	第2期計画
3月26日	JA土佐れいほく理事会	〃
4月20日	土佐町部落長会	〃
5月1日	大豊町区長会	〃
5月22日	本山町商工会総会	第2期計画、土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウム
5月24日	土佐地区商工会総会	〃
5月29日	大豊町商工会総会	〃
6月29日	農業改良普及推進会議	第2期計画

(2) その他

1) 町村広報誌でのPR

- ・土佐の産業おこし参加プランのPR…本山町（6月号）、大豊町（6月号）

2) 文書でのPR

- ・産業振興計画シンポジウムの案内…3 地区商工会、4 町村森林組合、4 町村
フォローアップ会議委員、JA

3) 学校でのPR

- ・第2期計画の説明…土佐町中学校（4月27日）
嶺北高校（5月15日）

4 相談案件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	H24. 7. 17	農産品加工	地域の農産品（ぜんまい、薬草等）の集出荷・加工施設を整備したい。 (整備は、次年度以降の予定)